

平成 31 年 度  
(2019年度)

岡山県西南水道企業団  
水道用水供給事業会計予算



## 平成31年度 岡山県西南水道企業団水道用水供給事業会計予算

(総則)

第1条 平成31年度岡山県西南水道企業団水道用水供給事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| (1) 年間総給水量  | 8,830,000m <sup>3</sup> |
| (2) 1日平均給水量 | 24,126m <sup>3</sup>    |

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

(科 目)	収	入
第1款 水道事業収益		976,000千円
第1項 営業収益		962,480千円
第2項 営業外収益		13,420千円
第3項 特別利益		100千円
	支	出
第1款 水道事業費用		646,500千円
第1項 営業費用		591,800千円
第2項 営業外費用		53,600千円
第3項 特別損失		100千円
第4項 予備費		1,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額469,100千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんするものとする。)

(科 目)	収	入
第1款 資本的収入		153,400千円
第1項 企業債		146,300千円
第2項 固定資産売却代金		100千円
第3項 補償金		7,000千円

	支	出
第1款 資本的支出		622,500千円
第1項 建設改良費		253,310千円
第2項 企業債償還金		41,860千円
第3項 市町からの長期借入金償還金		156,330千円
第4項 投資		170,000千円
第5項 予備費		1,000千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項,期間及び限度額は,次のとおりと定める。

事項	期間	限度額
水道施設緊急修繕事業	平成32年度 (2020年度)まで	10,000千円に消費税相当額を加えた額

(企業債)

第6条 起債の目的,限度額,起債の方法,利率及び償還の方法は,次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
水道施設建設 改良事業	千円 146,300	普通貸借 又は 証券発行	年3.00%以内 (ただし,利率見直し 方式で借り入れる 資金については,利 率見直しを行った後 において,当該見直 し後の利率。)	政府資金については,そ の融資条件により,銀行そ 他の場合には債権者との 協定による。 ただし,企業団財政の都 合により据置期間及び償還 期限を短縮し,もしくは繰 上償還,又は低利に借換え することができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、200,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用、営業外費用及び特別損失の各項間

限度額 200,000千円

(2) 建設改良費、企業債償還金、市町からの長期借入金償還金及び投資の各項間

限度額 200,000千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 107,470千円

(2) 交際費 150千円

(他会計からの補助金)

第10条 水道用水供給事業の運営資金に充当するため、構成市町からこの会計へ補助を受ける金額は、1,168千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、13,815千円と定める。

平成31年2月19日 提出

岡山県西南水道企業団

企業長 小林 嘉文



# 予 算 に 関 す る 説 明 書

平成31年度岡山県西南水道企業団水道用水供給事業会計 予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業収益			976,000	
	1 営業収益		962,480	
		1 給水収益	962,470	
		2 受託工事収益	10	
	2 営業外収益		13,420	
		1 受取利息及び配当金	1,060	
		2 他会計負担金	10	
		3 他会計補助金	1,168	構成市町からの補助金
		4 長期前受金戻入	10,010	繰延収益の償却
		5 雑収益	1,172	
	3 特別利益		100	
		1 固定資産売却益	100	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業費用			646,500	
	1 営業費用		591,800	
		1 原水及び浄水費	290,410	
		2 送水及び配水費	85,050	
		3 受託工事費	10	
		4 総係費	58,900	うち退職給付引当予定8,670
		5 減価償却費	152,200	
		6 資産減耗費	4,100	
		7 議会費及び監査費	1,130	
	2 営業外費用		53,600	
		1 支払利息及び 企業債取扱諸費	13,500	
		2 消費税	40,000	消費税及び地方消費税の納付
		3 雑支出	100	
	3 特別損失		100	
		1 固定資産売却損	100	
	4 予備費		1,000	
		1 予備費	1,000	



資 本 的 収 入 及 び 支 出  
収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			153,400	
	1 企業債		146,300	
		1 企業債	146,300	建設改良費の財源に充てるための企業債
	2 固定資産売却代金		100	
		1 固定資産売却代金	100	
	3 補償金		7,000	
1 移転補償金		7,000		

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			622,500	
	1 建設改良費		253,310	
		1 改良費	249,910	
		2 営業設備費	3,400	
	2 企業債償還金		41,860	
		1 企業債償還金	41,860	
	3 市町からの長期借入金償還金		156,330	
		1 市町からの長期借入金償還金	156,330	
	4 投資		170,000	
		1 投資	170,000	国債, 地方債, 地方公共団体金融機構債等の購入
	5 予備費		1,000	
1 予備費		1,000		

平成31年度 岡山県西南水道企業団水道用水供給事業 予定キャッシュ・フロー計算書  
(平成31年4月1日から平成32年(2020年)3月31日まで)

(単位：千円)

1 営業活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益		315,633
減価償却費		152,200
固定資産除却費等		3,000
減損損失		0
各種引当金の増減額	(△は減少)	3,637
その他の非資金取引増減額	(△は減少)	0
長期前受金戻入額		△ 10,010
受取利息及び配当金		△ 1,060
支払利息及び企業債取扱諸費		13,500
有形固定資産売却損益	(△は益)	100
未収金の増減額	(△は増加)	0
たな卸資産の増減額	(△は増加)	0
その他の流動資産の増減額	(△は増加)	0
未払金の増減額	(△は減少)	△ 8,451
その他の流動負債の増減額	(△は減少)	0
為替差損益	(△は益)	0
小計		468,549
利息及び配当金の受取額		1,060
利息の支払額		△ 13,500
営業活動によるキャッシュ・フロー		456,109

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出		△ 231,992
固定資産の売却による収入		100
投資有価証券の取得による支出		△ 170,000
投資有価証券の売却による収入		0
国庫補助金等による収入		7,000
投資資産関係の構成団体からの繰入金による収入		0
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 394,892

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

一時借入れによる収入		200,000
一時借入金の返済による支出		△ 200,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入		146,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出		△ 41,860
その他の構成団体からの借入金による収入		0
その他の構成団体からの借入金の返済による支出		△ 156,330
リース債務の返済による支出		0
構成団体からの出資による収入		0
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 51,890
資金に係る換算差額		0
資金増加額(又は減少額)		9,327
資金期首残高		1,163,325
資金期末残高		1,172,652

給 与 費 明 細 書

1 特別職

(単位 千円)

区 分		職員数 (人)	給 与 費				法定 福利費	合 計
			報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	長 等	4	130			130		130
	議 員	13	320			320		320
	その他の特別職	2	50			50		50
	計	19	500	0	0	500	0	500
前 年 度	長 等	4	130			130		130
	議 員	13	320			320		320
	その他の特別職	2	50			50		50
	計	19	500	0	0	500	0	500
比 較	長 等	0	0			0		0
	議 員	0	0			0		0
	その他の特別職	0	0			0		0
	計	0	0	0	0	0	0	0

2 一般職

(1) 総活

(単位 千円)

区 分		職員数 (人)	給 与 費			法定 福利費	合 計
			給 料	手 当	計		
本 年 度	損益勘定支弁職員	12	51,280	37,930	89,210	18,260	107,470
	資本勘定支弁職員	0			0		0
	計	12	51,280	37,930	89,210	18,260	107,470
前 年 度	損益勘定支弁職員	12	51,350	35,770	87,120	18,210	105,330
	資本勘定支弁職員	0			0		0
	計	12	51,350	35,770	87,120	18,210	105,330
比 較	損益勘定支弁職員	0	△ 70	2,160	2,090	50	2,140
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	0
	計	0	△ 70	2,160	2,090	50	2,140

(単位 千円)

手当の内訳	区分	扶養	住居	通勤	特殊勤務	時間外勤務	休日給	宿日直	管理職
	本年度	2,250	324	1,092	15	2,505	255	170	946
	前年度	2,268	2	1,039	450	2,807	250	170	944
	比較	△ 18	322	53	△ 435	△ 302	5	0	2

管理職員 特別勤務	夜間勤務	期末	勤勉	児童	退職給付費	退職給付費 (特別損失)	期末勤勉 (特別損失)	計
120	144	12,261	7,698	1,480	8,670	0	0	37,930
120	673	12,269	7,248	1,660	5,870	0	0	35,770
0	△ 529	△ 8	450	△ 180	2,800	0	0	2,160

## (2) 給料及び手当の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説明	備考	
給料	△ 70	給与改定に伴う増減分	0	平均改定率-%	該当なし
		昇給に伴う増加分	513	平均昇給率1.2%	
		その他の増減分	△ 583	職員の異動等	
手当	2,160	制度改正に伴う増減分	0		該当なし
		退職給付費増減分	2,800	引当金へ繰入額の増による	
		その他の増減分	△ 640	職員の異動等	

## (3) 給料及び手当の状況

## ア 職員1人当たり給与

区 分	行政職	技能労務職
31年1月1日現在	平均給料月額(円)	357,270
	平均給与月額(円)	411,125
	平均年齢(歳, ヶ月)	46, 03
30年1月1日現在	平均給料月額(円)	359,050
	平均給与月額(円)	425,322
	平均年齢(歳, ヶ月)	46, 01

## イ 初任給

区分	行政職(円)	技能労務職(円)	笠岡市一般会計の制度	
			行政職(円)	技能労務職(円)
高校卒	157,300	157,300	157,300	157,300
大学卒	186,200		186,200	

ウ 級別職員数

区 分	行 政 職			技 能 労 務 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)	級	職員数 (人)	構成比 (%)
31年1月1日 現在	1級	1	10.0	1級	0	0
	2級	0	0.0	2級	0	0
	3級	4	40.0	3級	2	100.0
	4級	3	30.0			
	5級	1	10.0			
	6級	1	10.0			
	7級	0	0			
	計	10	100.0	計	2	100.0
30年1月1日 現在	1級	0	0	1級	0	0
	2級	1	10.0	2級	0	0
	3級	4	40.0	3級	2	100.0
	4級	3	30.0			
	5級	1	10.0			
	6級	1	10.0			
	7級	0	0			
	計	10	100.0	計	2	100.0

(級別の標準的な職務内容)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
行政職	主事補 技師補	主事 技師	主任技師 技師	係長 主査	場長 課長補佐	課長 参事

エ 昇給

区 分		合 計	行 政 職	技 能 労 務 職	
本 年 度	職員数 (A) (人)	12	10	2	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	12	10	2	
	昇給別内訳	1号給 (人)	0		
		2号給 (人)	1	1	
		3号給 (人)	0		
		4号給 (人)	11	9	2
		5号給以上 (人)	0		
比 率 (B)/(A) (%)	100.0	100.0	100.0		
前 年 度	職員数 (A) (人)	12	10	2	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	12	10	2	
	昇給別内訳	1号給 (人)	0		
		2号給 (人)	1	1	
		3号給 (人)	0		
		4号給 (人)	11	9	2
		5号給以上 (人)	0		
比 率 (B)/(A) (%)	100.0	100.0	100.0		

オ 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	行 政 職	技 能 労 務 職	備 考
給料総額に対する比率 (%)	0.0	0.0	0.0	
支給対象職員の比率 (%) (平成31年1月1日現在)	0.0	0.0	0.0	夜間勤務体制の変更による深夜勤務手当支給なし
代表的な特殊勤務手当の名称	深夜勤務手当(1回@380円) 応急復旧作業従事手当(1時間@380円)			

カ 期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階, 職務の級等 による加算措置	備考
	6月(月分)	12月(月分)			
本年度	2.175	2.175	4.350	有	国の制度4.450
前年度	2.075	2.225	4.300	有	
笠岡市 一般会計の制度	2.175	2.175	4.350	有	

キ 定年退職に係る退職手当

区 分	20年勤続 の者(月分)	25年勤続 の者(月分)	35年勤続 の者(月分)	最高限度 (月分)	その他の 加算措置等	備 考
支給率等 本年度	24.58688	33.2708	47.7090	47.7090	制度なし	
支給率等 前年度	25.55625	34.5825	49.5900	49.5900	制度なし	
笠岡市一般会計の制 度(支給率等)	24.58688	33.2708	47.7090	47.7090	制度なし	

ク その他の手当

区 分	笠岡市一般会計の制度との異同	差異の内容
扶 養 手 当	同 じ	
住 居 手 当	〃	
通 勤 手 当	〃	
宿 日 直 手 当	〃	
管 理 職 手 当	〃	
管理職員特別勤務手当	〃	

債務負担行為に関する調書

事 項	限 度 額	前年度末までの 支払義務発生(見込)額		当該年度以降の 支払義務発生予定額		左の 財源内訳 水道料金等 一般財源
		期 間	金 額	期 間	金 額	
新庄浄水場及 び鴨方浄水場 夜間休日運転 管理業務	千円  113,900 に消費税相当 額を加えた額	平成29年度 から 平成30年度 まで	千円  51,303 に消費税相当 額を加えた額	平成31年度 から 平成32年度 (2020年度) まで	千円  57,083 に消費税相当 額を加えた額	千円  57,083 (注1)
水道施設緊急 修繕事業	10,000 に消費税相当 額を加えた額	—	0 に消費税相当 額を加えた額	平成32年度 (2020年度) まで	10,000 に消費税相当 額を加えた額	10,000 (注1)

(注1) 消費税相当額については、翌年度6月の消費税確定申告にて、仕入れに係る消費税として控除税額となります。

平成30年度 岡山県西南水道企業団水道用水供給事業予定損益計算書（前年度分）

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

（単位：千円）

1	営業収益			
	(1) 給水収益	892,000		
	(2) 受託工事収益	9	892,009	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	293,669		
	(2) 送水及び配水費	60,518		
	(3) 受託工事費	9		
	(4) 総係費	52,654		
	(5) 減価償却費	152,400		
	(6) 資産減耗費	11,848		
	(7) 議会費及び監査費	486	571,584	
	営業利益			320,425
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	1,337		
	(2) 他会計負担金	9		
	(3) 他会計補助金	1,408		
	(4) 長期前受金戻入	10,080		
	(5) 雑収益	1,413	14,247	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	15,200		
	(2) 雑支出	100	15,300	△ 1,053
	経常利益			319,372
5	特別利益			
	(1) 固定資産売却益	100		
	(2) その他特別利益	0	100	
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	100		
	(2) その他特別損失	0	100	0
7	予備費			
	(1) 予備費	1,000	1,000	△ 1,000
	当年度純利益			318,372
	前年度繰越利益剰余金			111
	目的充当済み未処分利益剰余金			308,000
	その他未処分利益剰余金変動額			0
	当年度未処分利益剰余金			626,483

平成30年度 岡山県西南水道企業団水道用水供給事業予定貸借対照表 (前年度分)

(平成31年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部

1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
イ	土地		661,642	
ロ	建物	618,053		
	減価償却累計額	<u>△ 335,272</u>	282,781	
ハ	構築物	4,830,994		
	減価償却累計額	<u>△ 2,415,520</u>	2,415,474	
ニ	機械及び装置	3,788,417		
	減価償却累計額	<u>△ 3,375,730</u>	412,687	
ホ	車両運搬具	4,177		
	減価償却累計額	<u>△ 3,196</u>	981	
ヘ	工具, 器具及び備品	50,940		
	減価償却累計額	<u>△ 47,400</u>	3,540	
ト	リース資産	0		
	減価償却累計額	<u>0</u>	0	
チ	建設仮勘定		139,700	
	有形固定資産合計			3,916,805
(2)	無形固定資産			
イ	ダム使用権		480,311	
ロ	水利権		1,997	
ハ	電話加入権		196	
ニ	ソフトウェア使用権		1,440	
	無形固定資産合計			483,944
(3)	投資その他の資産			
イ	投資有価証券		130,000	
	投資その他の資産 合計			130,000
	固定資産 合計			4,530,749
2	流動資産			
(1)	現金・預金		1,163,325	
(2)	未収金		82,329	
(3)	貯蔵品		2,317	
(4)	有価証券		100	
(5)	前払費用		0	
(6)	前払金		35	
	流動資産 合計			1,248,106
3	繰延資産			0
	資産 合計			<u>5,778,855</u>



負債の部

4	固定負債			
(1)	企業債		567,032	
(2)	リース債務		0	
(3)	引当金			
イ	退職給付引当金	97,307		
	引当金合計		97,307	
(4)	市町からの借入金		91,056	
	固定負債合計			755,395
5	流動負債			
(1)	企業債(1年以内に期限の到来するもの)		41,851	
(2)	リース債務(〃)		0	
(3)	未払金		83,676	
(4)	未払費用		0	
(5)	前受金		0	
(6)	引当金(〃)			
イ	賞与等引当金	7,570		
	引当金合計		7,570	
(7)	預り金		300	
(8)	市町からの借入金(〃)		156,324	
	流動負債合計			289,721
6	繰延収益			
(1)	長期前受金		783,557	
(2)	長期前受金収益化累計額		△ 469,784	
	繰延収益合計			313,773
	負債合計			1,358,889

資本の部

7	資本金			
(1)	資本金			
イ	出資金	171,533		
ロ	組入資本金	3,070,950		
	資本金合計		3,242,483	
	資本金合計			3,242,483
8	剰余金			
(1)	資本剰余金		0	
(2)	利益剰余金			
イ	減債積立金	461,000		
ロ	建設改良積立金	90,000		
ハ	長期借入金償還積立金	0		
ニ	目的充当済み未処分利益剰余金	308,000		
ホ	その他未処分利益剰余金変動額	0		
ヘ	前年度繰越利益剰余金	111		
ト	当年度純利益	318,372		
	利益剰余金合計		1,177,483	
	剰余金合計			1,177,483
	資本合計			4,419,966
	負債資本合計			5,778,855

## 財務諸表等予算に関する書類における注記（平成30年度 前年度分）

### I 重要な会計方針

#### 1 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 薬品については、先入先出法、その他については移動平均法による原価法によっている。

#### 2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 定額法による。

(2) 無形固定資産 定額法による。

(3) リース資産 定額法によるが、基準要件が認められる時は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による（簡便法）。

#### 3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額（97,307千円）を計上している。

また、貸借対照表に計上されている退職給付引当金のうち、構成団体及び他団体の会計が直接負担すると見込まれる額は零円である。

(2) 賞与等引当金 職員の期末・勤勉手当及び賞与月の法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（7,570千円、12月から3月までの4か月分）を計上している。

(3) 特別修繕引当金 法令上の義務付けがある設備等に係る定期修繕については、現在該当がないため計上していない。

#### 4 その他の会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### II 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

#### 1 予定キャッシュ・フロー計算書の様式等

様式については、間接法を採用している。

資金の範囲は、貸借対照表における「現金・預金」と同一としている。

#### 2 重要な非資金取引

該当なし

### III 予定貸借対照表等関連

#### 1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、構成団体及び他団体の会計が将来負担すると見込まれる額は零円である。

## 2 退職給付引当金の積立て及び取崩し

当年度において、同引当金について、積立て及び取崩しを行う見込みである。

積立額	当年度の負担に属する額	7,010 千円
取崩額	退職手当として支給する額	2,526 千円

## 3 賞与等引当金の積立て及び取崩し

当年度において、同引当金について、積立て及び取崩しを行う見込みである。

積立額	当年度の負担に属する額	7,570 千円
取崩額	前年度末に積み立てた額	7,500 千円

## IV セグメント情報

本企業団は、単一セグメント（水道用水供給事業）により事業を行っているため、記載を省略している。

## V 減損損失

### 1 減損の兆候

本企業団は、減損の兆候を認識するにあたっては、単一のグループ化（水道用水供給事業資産）としている。

当年度において、水道用水供給事業資産について減損の兆候は見込まれていない。

## VI リース契約により使用する固定資産

該当なし

## VII その他

該当なし

平成31年度 岡山県西南水道企業団水道用水供給事業予定貸借対照表 (当年度分)

(平成32年(2020年)3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部

1	固定資産			
(1)	有形固定資産			
イ	土地		661,642	
ロ	建物	617,953		
	減価償却累計額	<u>△ 343,570</u>	274,383	
ハ	構築物	4,835,994		
	減価償却累計額	<u>△ 2,495,298</u>	2,340,696	
ニ	機械及び装置	3,802,180		
	減価償却累計額	<u>△ 3,421,485</u>	380,695	
ホ	車両運搬具	5,077		
	減価償却累計額	<u>△ 3,196</u>	1,881	
ヘ	工具, 器具及び備品	53,059		
	減価償却累計額	<u>△ 47,702</u>	5,357	
ト	リース資産	0		
	減価償却累計額	<u>0</u>	0	
チ	建設仮勘定		346,810	
	有形固定資産合計			4,011,464
(2)	無形固定資産			
イ	ダム使用权		463,265	
ロ	水利権		1,456	
ハ	電話加入権		196	
ニ	ソフトウェア使用权		960	
	無形固定資産合計			465,877
(3)	投資その他の資産			
イ	投資有価証券		300,000	
	投資その他の資産合計			300,000
	固定資産合計			4,777,341
2	流動資産			
(1)	現金・預金		1,172,652	
(2)	未収金		82,329	
(3)	貯蔵品		2,317	
(4)	有価証券		100	
(5)	前払費用		0	
(6)	前払金		35	
	流動資産合計			1,257,433
3	繰延資産			0
	資産合計			<u>6,034,774</u>

負 債 の 部

4 固定負債			
(1) 企業債		670,583	
(2) リース債務		0	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	100,944		
引当金合計		100,944	
(4) 市町からの借入金		0	
固定負債合計			771,527
5 流動負債			
(1) 企業債(1年以内に期限の到来するもの)		42,740	
(2) リース債務(〃)		0	
(3) 未払金		75,225	
(4) 未払費用		0	
(5) 前受金		0	
(6) 引当金(〃)			
イ 賞与等引当金	7,570		
引当金合計		7,570	
(7) 預り金		300	
(8) 市町からの借入金(〃)		91,050	
流動負債合計			216,885
6 繰延収益			
(1) 長期前受金		790,557	
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 479,794	
繰延収益合計			310,763
負債合計			1,299,175

資 本 の 部

7 資本金			
(1) 資本金			
イ 出資金	171,533		
ロ 組入資本金	3,378,950		
資本金合計		3,550,483	
資本金合計			3,550,483
8 剰余金			
(1) 資本剰余金		0	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	532,000		
ロ 建設改良積立金	140,000		
ハ 長期借入金償還積立金	0		
ニ 目的充当済み未処分利益剰余金	197,000		
ホ その他未処分利益剰余金変動額	0		
ヘ 前年度繰越利益剰余金	483		
ト 当年度純利益	315,633		
利益剰余金合計		1,185,116	
剰余金合計			1,185,116
資本合計			4,735,599
負債資本合計			6,034,774

## 財務諸表等予算に関する書類における注記（平成31年度 当年度分）

### I 重要な会計方針

#### 1 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 薬品については、先入先出法、その他については移動平均法による原価法によっている。

#### 2 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定額法による。
- (2) 無形固定資産 定額法による。
- (3) リース資産 定額法によるが、基準要件が認められる時は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による（簡便法）。

#### 3 引当金の計上方法

- (1) 退職給付引当金 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額（100,944千円）を計上している。  
また、貸借対照表に計上されている退職給付引当金のうち、構成団体及び他団体の会計が直接負担すると見込まれる額は零円である。
- (2) 賞与等引当金 職員の期末・勤勉手当及び賞与月の法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（7,570千円、12月から3月までの4か月分）を計上している。
- (3) 特別修繕引当金 法令上の義務付けがある設備等に係る定期修繕については、現在該当がないため計上していない。

#### 4 その他の会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### II 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

#### 1 予定キャッシュ・フロー計算書の様式等

様式については、間接法を採用している。  
資金の範囲は、貸借対照表における「現金・預金」と同一としている。

#### 2 重要な非資金取引

該当なし

### III 予定貸借対照表等関連

#### 1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、構成団体及び他団体の会計が将来負担すると見込まれる額は零円である。

2 退職給付引当金の積立て及び取崩し

当年度において、同引当金について、積立て及び取崩しを行う見込みである。

積立額	当年度の負担に属する額	8,670 千円
取崩額	退職手当として支給する額	5,033 千円

3 賞与等引当金の積立て及び取崩し

当年度において、同引当金について、積立て及び取崩しを行う見込みである。

積立額	当年度の負担に属する額	7,570 千円
取崩額	前年度末に積み立てた額	7,570 千円

IV セグメント情報

本企業団は、単一セグメント（水道用水供給事業）により事業を行っているため、記載を省略している。

V 減損損失

1 減損の兆候

本企業団は、減損の兆候を認識するにあたっては、単一のグループ化（水道用水供給事業資産）としている。

当年度において、水道用水供給事業資産について減損の兆候は見込まれていない。

VI リース契約により使用する固定資産

該当なし

VII その他

該当なし

## 平成31年度岡山県西南水道企業団水道用水供給事業会計 予算積算基礎

## 収 益 的 収 入

(単位：千円)

款 項	目 節	本年度	前年度	比 較	備 考
1 水道事業 収益		976,000	967,900	8,100	
1 営業収益		962,480	954,730	7,750	
	1 給水収益	962,470	954,720	7,750	
	水道料金	962,470	954,720	7,750	見込み 8,830,000㎡ 笠岡市5,236,190㎡ 浅口市2,216,330㎡ 里庄町1,377,480㎡
	2 受託工事 収益	10	10	0	
	受託工事収益	10	10	0	
2 営業外 収益		13,420	13,070	350	
	1 受取利息 及び配当 金	1,060	340	720	
	預金利息	280	260	20	定期預金等の利息
	有価証券利息	780	80	700	国債, 地方債, 地方公共団 体金融機構債等の利息
	2 他会計負 担金	10	10	0	
	県負担金	10	10	0	
	3 他会計補 助金	1,168	1,408	△ 240	
	市町補助金	1,168	1,408	△ 240	児童手当に関する経費補助 金 笠岡市 782 浅口市 269 里庄町 117
	4 長期前受 金戻入	10,010	10,080	△ 70	
	長期前受金 戻入	10,010	10,080	△ 70	繰延収益の償却 県工事負担金分 2,677 県企業局負担金分 1,041 その他補助金分 992 市町分賦金分 5,300
	5 雑収益	1,172	1,232	△ 60	
	その他雑収益	1,172	1,232	△ 60	企業局加圧ポンプ等管理料 1,080 外
3 特別利益		100	100	0	
	1 固定資産 売却益	100	100	0	
	固定資産 売却益	100	100	0	
	2 その他 特別利益	0	0	0	
	その他 特別利益	0	0	0	



収 益 の 支 出

(単位：千円)

款 項	目 節	本年度	前年度	比 較	備 考
1 水道事業費用		646,500	671,200	△ 24,700	
1 営業費用		591,800	614,500	△ 22,700	
	1 原水及び浄水費	290,410	330,310	△ 39,900	
	給料	38,860	41,460	△ 2,600	職員9人
	手当	17,250	19,410	△ 2,160	職員手当
	賞与等引当金繰入額	5,690	5,880	△ 190	当期起因分を積立て賞与分4,770 法定福利費分920
	賃金	11,630	8,980	2,650	嘱託賃金4人分11,504 場内配水池除草作業賃金
	法定福利費	12,920	13,610	△ 690	共済組合負担金 外
	旅費	10	10	0	
	被服費	220	50	170	作業服 外
	備用品費	3,000	3,240	△ 240	施設用消耗品
	燃料費	300	320	△ 20	施設用燃料
	通信運搬費	10	110	△ 100	
	委託料	54,430	61,360	△ 6,930	原浄水施設各種点検等業務 夜間休日運転管理27,969 計 装設備点検11,663 汚泥運搬 処分8,164ほか
	手数料	6,260	6,200	60	水質検査 外
	賃借料	60	100	△ 40	発電機リース 外
	修繕費	32,020	52,400	△ 20,380	原水浄水関係修繕費 脱水機修繕14,409 ろ過池水 位制御機器修繕8,175ほか
	動力費	39,100	38,100	1,000	ポンプ等電力料
	薬品費	26,920	33,250	△ 6,330	活性炭10,595 ポリ塩化アルミニウム 次亜塩素 外
	負担金	39,600	43,720	△ 4,120	共用導水路管理費負担金 動力費分15,107ほか
	材料費	2,130	2,110	20	施設・機器用材料及び部品
	2 送水及び配水費	85,050	75,290	9,760	
	備用品費	390	300	90	配水池用消耗品
	燃料費	90	80	10	
	委託料	15,730	3,000	12,730	送配水施設各種点検等業務 送水ポンプ点検7,792 配水 池底部清掃5,438ほか
	賃借料	1,430	1,430	0	専用回線使用料
	修繕費	28,170	31,060	△ 2,890	送配水関係修繕費 送水ポンプ修繕12,644 鴨方 北配水池修繕10,961ほか
	路面復旧費	650	540	110	
	動力費	37,500	37,800	△ 300	ポンプ等電力料
	材料費	1,090	1,080	10	施設・機器用材料及び部品

収 益 の 支 出

(単位：千円)

款 項	目 節	本年度	前年度	比 較	備 考
3	受託工事費	10	10	0	
	受託工事費	10	10	0	
4	総係費	58,900	52,370	6,530	
	報酬	130	130	0	企業長1人参与3人
	給料	12,420	9,890	2,530	職員3人
	手当	5,660	4,280	1,380	職員手当
	賞与等引当金繰入額	1,880	1,510	370	当期起因分を積立て賞与分1,580 法定福利費分300
	賃金	2,190	2,180	10	臨時職員1人
	法定福利費	4,120	3,420	700	共済組合負担金 外
	災害補償費	10	10	0	
	退職給付費	8,670	5,870	2,800	当期起因分を積立分8,670 (引当金取崩見込額5,033)
	旅費	270	240	30	
	報償費	200	200	0	弁護士等報償費
	被服費	20	20	0	
	備用品費	1,470	1,600	△ 130	事務局全般に係る備消耗品
	燃料費	360	360	0	
	光熱水費	80	80	0	
	印刷製本費	340	140	200	
	通信運搬費	500	400	100	
	広告広報費	260	1,120	△ 860	浄水場見学小学生贈呈品 外
	委託料	7,540	8,320	△ 780	管理棟清掃2,233 土木積算システム1,180 経営戦略策定支援 外
	手数料	100	120	△ 20	公用車車検 外
	賃借料	1,870	1,150	720	土木積算システム機器借上料 電子決裁専用回線料 外
	修繕費	3,050	3,240	△ 190	管理棟修繕 公用車修繕 外
	研修費	1,020	1,080	△ 60	職員研修費
	食料費	30	30	0	来客用お茶 外
	厚生費	190	260	△ 70	職員健康診断 職員互助会補助金 外
	会費負担金	5,870	6,070	△ 200	兼務職員給与負担金3,520 電算システム負担金1,339 日水協会費 外
保険料	390	390	0	建物損害共済分担金 外	
公課費	160	160	0	産廃税 自動車重量税	
交際費	100	100	0	企業長交際費100	

収 益 的 支 出

(単位：千円)

款 項	目 節	本年度	前年度	比 較	備 考	
5 減価償却費		152,200	152,400	△ 200		
	建物減価償却費	8,298	8,483	△ 185		
	構築物減価償却費	79,778	81,430	△ 1,652		
	機械及び装置減価償却費	45,755	43,974	1,781		
	車両運搬具減価償却費	0	82	△ 82		
	工具、器具及び備品減価償却費	302	365	△ 63		
	有形リース資産減価償却費	0	0	0		
	ダム使用権減価償却費	17,046	17,046	0		
	水利権減価償却費	541	540	1		
	ソフトウェア使用権減価償却費	480	480	0	財務会計システムのソフトウェア	
	6 資産減耗費		4,100	3,000	1,100	
		固定資産除却費	4,100	3,000	1,100	簿価除却分3,000 廃止撤去工事分1,100
	7 議会費及び監査費		1,130	1,120	10	
		報酬	370	370	0	議員・監査委員報酬
		旅費	650	640	10	出張・視察旅費
備用品費		20	20	0		
通信運搬費		20	20	0	切手代	
食料費		20	20	0		
交際費		50	50	0	議長交際費50	
2 営業外費用		53,600	55,600	△ 2,000		
	1 支払利息及び企業債取扱諸費		13,500	16,500	△ 3,000	
		企業債利息	12,390	14,830	△ 2,440	企業債の利息
		一時借入金利息	320	320	0	
		市町借入金利息	790	1,350	△ 560	構成市町からの借入金利息
	2 消費税		40,000	39,000	1,000	
		消費税	40,000	39,000	1,000	消費税及び地方消費税の納付
	3 雑支出		100	100	0	
その他雑支出		100	100	0		
3 特別損失		100	100	0		
	1 固定資産売却損		100	100	0	
		固定資産売却損	100	100	0	
	2 その他特別損失		0	0	0	
その他特別損失		0	0	0		

収 益 の 支 出

(単位：千円)

款 項	目	節	本年度	前年度	比 較	備 考
4 予備費			1,000	1,000	0	
	1 予備費		1,000	1,000	0	
		予備費	1,000	1,000	0	

資 本 の 収 入

(単位：千円)

款 項	目	節	本年度	前年度	比 較	備 考
1 資本的収入			153,400	135,400	18,000	
1 企業債			146,300	135,300	11,000	
	1 企業債		146,300	135,300	11,000	
		企業債	146,300	135,300	11,000	建設改良費の財源に充てるための企業債 水道施設建設改良事業費充当（送水管新設改良事業，浄水場施設改良事業）
2 固定資産売却代金			100	100	0	
	1 固定資産売却代金		100	100	0	
		固定資産売却代金	100	100	0	
3 補償金			7,000	0	7,000	
	1 移転補償金		7,000	0	7,000	
		移転補償金	7,000	0	7,000	玉島笠岡道路関連送水管移転補償金

## 資 本 的 支 出

(単位：千円)

款 項	目	節	本年度	前年度	比 較	備 考
1 資本的支出			622,500	651,000	△ 28,500	
1 建設改良費			253,310	210,820	42,490	
	1 改良費		249,910	209,200	40,710	
		委託料	20,230	620	19,610	送水管布設実施設計10,021 玉島笠岡道路関連送水管移転 実施設計7,560 外
		工事請負費	224,230	203,580	20,650	施設の建設改良工事費 送水管新設事業209,000 浄水場受電設備更新事業 10,377 外
		工事負担金	5,450	5,000	450	共用導水路管理費（建設改 良費分）5,380 外
	2 営業設備費		3,400	1,620	1,780	
		固定資産 購入費	3,400	1,620	1,780	公用車 コピー複合機, 計 測機器設備 外
	3 リース債務 支払額		0	0	0	
		リース債務 支払額	0	0	0	
2 企業債 償還金			41,860	152,870	△ 111,010	
	1 企業債 償還金		41,860	152,870	△ 111,010	
		企業債償還金	41,860	152,870	△ 111,010	企業債の元金償還金
3 市町から の長期 借入金 償還金			156,330	156,310	20	
	1 市町からの 長期借入金 償還金		156,330	156,310	20	
		市町からの 長期借入金 償還金	156,330	156,310	20	構成市町からの長期借入金 の元金償還金
4 投資			170,000	130,000	40,000	
	1 投資		170,000	130,000	40,000	
		投資有価証券	170,000	130,000	40,000	国債, 地方債, 地方公共団体 金融機構債等の購入
5 予備費			1,000	1,000	0	
	1 予備費		1,000	1,000	0	
		予備費	1,000	1,000	0	

## たな卸資産購入限度額

(単位：千円)

款 項	目	節	本年度	前年度	比 較	備 考
1 たな卸資産 購入限度額			13,815	21,010	△ 7,195	
	1 たな卸資産 購入限度額		13,815	21,010	△ 7,195	
1 たな卸資産 購入限度額		たな卸資産 購入限度額	13,815	21,010	△ 7,195	粉末活性炭10,595 修繕用 材料など たな卸資産購入費

## 平成31年度 岡山県西南水道企業団水道用水供給事業予定損益計算書 (当年度分)

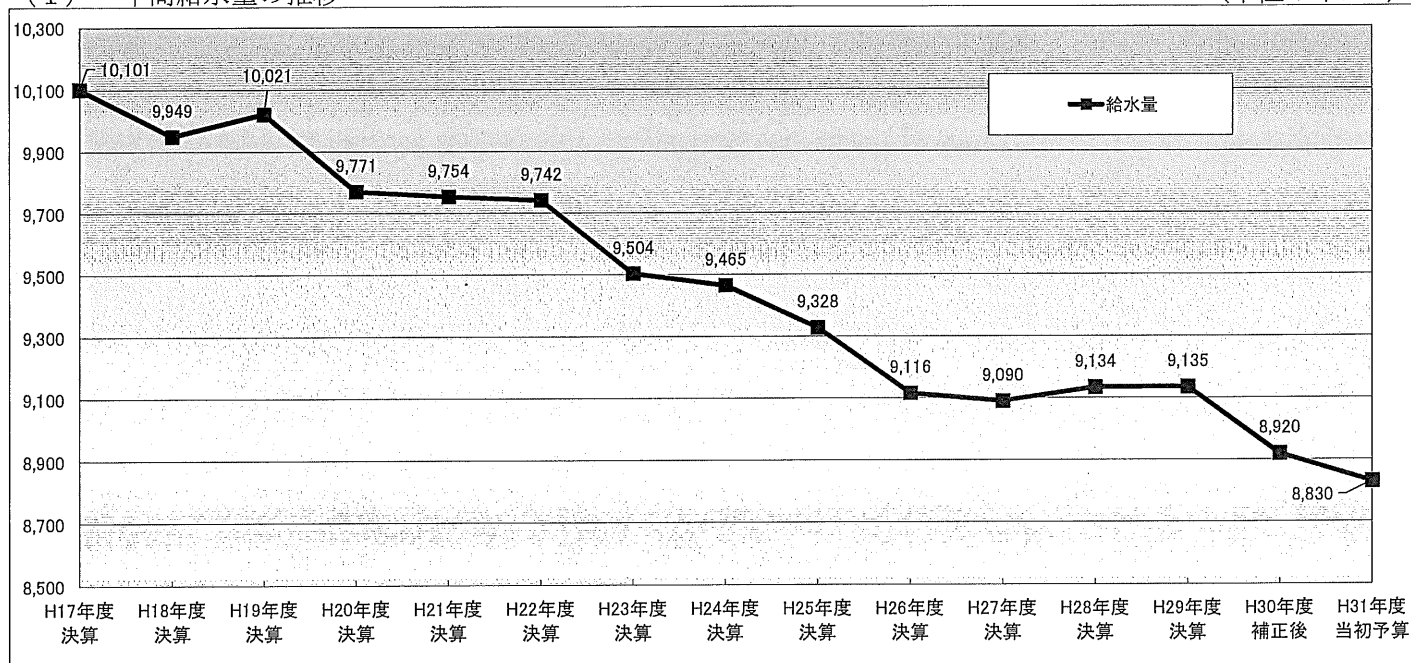
(平成31年4月1日から平成32年(2020年)3月31日まで)

(単位:千円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	883,000		
	(2) 受託工事収益	9	883,009	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	273,468		
	(2) 送水及び配水費	78,019		
	(3) 受託工事費	9		
	(4) 総係費	57,337		
	(5) 減価償却費	152,200		
	(6) 資産減耗費	4,000		
	(7) 議会費及び監査費	1,073	566,106	
	営業利益			316,903
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	1,060		
	(2) 他会計負担金	9		
	(3) 他会計補助金	1,168		
	(4) 長期前受金戻入	10,010		
	(5) 雑収益	1,083	13,330	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	13,500		
	(2) 雑支出	100	13,600	△ 270
	経常利益			316,633
5	特別利益			
	(1) 固定資産売却益	100		
	(2) その他特別利益	0	100	
6	特別損失			
	(1) 固定資産売却損	100		
	(2) その他特別損失	0	100	0
7	予備費			
	(1) 予備費	1,000	1,000	△ 1,000
	当年度純利益			315,633
	前年度繰越利益剰余金			483
	目的充当済み未処分利益剰余金			197,000
	その他未処分利益剰余金変動額			0
	当年度未処分利益剰余金			513,116

(1) 年間給水量の推移

(単位：千m<sup>3</sup>)



最大給水年度:H17年度 10,100,901m<sup>3</sup>

(単位：千m<sup>3</sup>)

	H17年度 決算	H18年度 決算	H19年度 決算	H20年度 決算	H21年度 決算	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 決算	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算	H29年度 決算	H30年度 補正後	H31年度 当初予算
給水量	10,101	9,949	10,021	9,771	9,754	9,742	9,504	9,465	9,328	9,116	9,090	9,134	9,135	8,920	8,830
前年度比	100.7%	98.5%	100.7%	97.5%	99.8%	99.9%	97.6%	99.6%	98.6%	97.7%	99.7%	100.5%	100.0%	97.6%	99.0%

※

H31年度の給水量はH21年度と比較し 90.53%

(2) 当年度純利益の推移

(単位：千円)

当年度純利益	106,863	104,164	146,328	152,029	200,870	219,770	229,059	259,027	400,935	472,838	363,311	462,987	426,267	318,372	315,633
--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(3) キャッシュ・フローの推移

※

(単位：千円)

CF増加(減少)額	+108,438	△ 78,435	+105,839	+110,827	△ 30,568	+145,831	+38,026	+64,330	+40,716	+117,520	+132,763	+131,129	+230,943	△ 153,685	+9,327
-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	-----------	--------

H24年度分までは参考値, H25年度分より会計制度見直しにより作成

(4) 給水原価の推移

(単位：円)

給水原価	89.77	89.90	85.86	84.71	79.79	77.74	76.27	73.08	57.48	56.92	53.53	49.65	53.72	64.66	64.52
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

